

なん
ぽろ

議会だより

第1回

3月5日～12日

定例会

令和2年度各会計予算を可決

3月定例会は3月5日に開会し、令和2年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。その後、令和元年度各会計補正予算7議案を審議し、いずれも原案のとおり可決。また令和2年度各会計予算案と関連条例など10議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。（審議内容は8・9ページ）

2日目は5名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する理事者の考えをたしました。本会議は12日に再開し、令和2年度各会計予算案、条例制定など16議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

令和元年度補正予算

○一般会計補正予算
(第5号)

歳入では、主に町税、役場庁舎改修工事実施設計に係る国庫補助金、南幌工業団地用地売却収入の追加、備荒資金組合超過納付金還付金の減額、並びに事務事業の精査。歳出では、主に病院事業会計繰入金、長幌上水道企業団出資金の追加によるもの。
可決

○国民健康保険特別会計
補正予算(第1号)

歳入では、主に国民健康保険税、一般会計繰入金並びに基金繰入金の減額、繰越金の追加。歳出では、主に保険給付費、基金積立金の追加によるもの。
可決

○病院事業会計補正予算
(第3号)

主に入院収益、一般会計繰入金、並びに事務事業費の精査によるもの。
可決

○下水道事業特別会計補正
予算(第2号)

歳入では、主に受益者負担金の追加、一般会計繰入金、下水道事業債の減額。

歳出では、主に職員給与費、江別市汚水処理に係る経費負担金の減額、消費税額の確定、南幌関連工事負担金並びに各事業費の確定による減額によるもの。
可決

○農業集落排水事業特別
会計(第1号)

歳入では、主に一般会計繰入金の減額、受益者負担金、繰越金の追加。歳出では、主に施設管理に係る委託料の減額によるもの。
可決

○介護保険特別会計補正
予算(第3号)

歳入では、主に国庫支出金、支払基金交付金、道負担金、並びに一般会計繰入金の減額。歳出では、主に保険給付費の減額、基金積立金の追加によるもの。
可決

○後期高齢者医療特別会計
補正予算(第1号)

歳入では、主に後期高齢者医療保険料、一般会計繰入金の減額、繰越金の追加。歳出では、主に後期高齢者医療広域連合納付金の減額によるもの。
可決

条例制定等

○職員定数条例(改正)

町立病院の診療体制見直しに伴い、職員定数を変更するため。
可決

○職員の給与に関する条例
(改正)

町立病院の診療体制見直しに伴い、新たに職を設置するため。
可決

○職員の特殊勤務手当に関する条例(改正)

町立病院の診療体制見直しに伴い、手当を新設するため。
可決

○職員の服務宣誓に関する
条例(改正)

地方自治法及び地方公務員法改正のため。
可決

○固定資産評価審査委員会
条例(改正)

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律改正のため。
可決

○南幌町営プール設置条例
(廃止)

夕張太プール廃止のため。
可決

○国民健康保険町立南幌病院条例(改正)

地方自治法等改正のため。
可決

○南幌町国営土地改良事業
負担金等の徴収に関する
条例(改正)

○南幌町公営住宅条例
(改正)

○南幌町子育て支援住宅条
例(改正)

○南幌町排水設備改造資金
貸付条例(改正)

○南幌町道路の構造の技術
的基準等を定める条例
(改正)

○南幌町営住宅管理条例
(廃止)

○南幌町営住宅廃止のため。
可決

決議

○民族共生の未来を切り開
く決議

提出者 菅原 文子議員
決議

第1回臨時会
1月17日

第1回臨時会は、財産の

処分1件が提案され、原案のとおり可決しました。

財産の処分

処分の目的

南幌工業団地工業用地分譲

処分する財産 宅地

処分の方法 随意契約

処分価格 2,400万円

契約先

ナカザワアグリマシーン㈱

第2回臨時会
2月18日

第2回臨時会は、一部事務組合議会議員補欠選挙2

件、財産の処分1件が提案

され、原案のとおり可決し

ました。

○南幌町公衆衛生組合議会
議員の補欠選挙

当選 側瀬 敏彦議員

○南幌町消防組合議会議員
の補欠選挙

当選 側瀬 敏彦議員

財産の処分

処分の目的

南幌工業団地工業用地分譲

処分する財産 宅地

処分の方法 随意契約

処分価格 2,770万円

契約先

アサヒプリテック㈱

令和2年度各会計予算及び関連条例に対する討論

反 対 討 論

熊木 議員

令和2年度南幌町各会計予算に反対の立場で討論を行います。

予算編成に当たっては、厳しい予算の中で各課において、苦勞されたことに敬意を払うものです。

今回のコロナウイルスの発生での担当課のすばやい対応も質問する中で理解しました。私は、今年度の予算に盛り込まれた誘客交流拠点施設整備事業について、この間議会一般質問の中で9億2400万円と巨額の費用がかかる事業であり、建設後の維持管理費など説明が不十分であること、全町民に対して建設する可否について意見聴取や説明会の開催が必要であることを述べてきました。しかし、何も決まっていない、基本設計ができてから町民へ説明するとの答弁で納得がいきません。

今まで国の進める事業に乗り多くの自治体が建設を進めた遊戯場をはじめとしたリゾート施設等は、町の大きな負担となり、失敗となった自治体が多いと思います。町の将来に負の遺産を残すことに繋がらないかと危惧します。補助金に頼って建設したばかりに、町として本来の目的に使えない施設になってしまった苦い経験を思い起こし、冷静な判断を求めます。地方自治体の役割は、そこに住んでいる地域住民の暮らしと福祉、健康、生活を守ることです。よって今予算に反対します。



賛 成 討 論

石川 議員

令和2年度予算は、国の制度改革の影響や地域動向を十分に考慮し、歳出においては事務事業の効率化、内部管理・事務的経費の削減などに基づいた編成としています。特に、誘客交流拠点施設整備事業は、本町にとって重要な課題である人口減少と人口構造対策、及び子育て環境整備の一環として、子供の室内遊戯場を核とした交流拠点となる複合施設を整備するものであります。きた住まいるヴィレッジや移住促進事業などにより、近年成果が上がっている中で、このあと道央国道の開通や日ハムボールパーク構想など、本町を取り巻く環境が大きく変わろうとしている時、それを追い風にして町を発展させるための事業であると思います。

30年後も子供たちのいる風景を実現させていくことが、今を生きる我々の責任であると思い、私は賛成をします。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

令和2年第1回議会定例会

●報告第1号 令和2年度各会計予算及び関連条例の審査報告について

賛成

内田恵子 佐藤妙子 西股裕司 志賀浦学 本間秀正 石川康弘 菅原文子
川幡宗宏

反対

熊木恵子

掲載されていない議案はすべて全員賛成
議長は採決に加わっていません。

令和2年第1回議会臨時会

●1議案 全員賛成

令和2年第2回議会臨時会

●1議案 全員賛成

一般質問

議員本人が内容を要約して掲載しています

問 在宅介護とごみの庭先収集の考えは

答 ニーズ調査等で検討します

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

第7期介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができる社会の実現に向け、医療と介護の関係が連携して在宅介護を提供することが重要とあります。

全国でも2025年には100万人の介護人材が不足すると言われています。
①今後加速する高齢化の中で本町は在宅介護の担い手

をどう確保していくのか。また、介護者の定着支援に関する町の取り組み状況と課題は。

②一人暮らしの高齢者が、自力でごみを集積場所まで運べなくなるケースが増えつつあります。

身近にごみ出しができる親族がおらず、要介護者の認定を受けている方や障がいのある方などを対象にした家庭ごみを庭先で収集する支援の考えは。以上、2点伺います。

町長

①現在、介護職員は不足しています。国による賃金向上などの処遇改善や本町における中学生の職場体験などの介護職の理解向上に向けた取り組みにより、

在宅介護の担い手確保に努めています。

更に、高齢者事業団への委託やコーディネート事業により、生活支援をできる人材確保に努めています。

定着支援は、各事業所で人材実態調査を実施しており、結果を分析し必要な支援を検討します。

②ごみ出し支援は、現在、介護予防・日常生活支援総合事業と訪問介護の中で実施しています。ニーズ調査などの実態を踏まえ検討します。

その他の質問 交通安全対策について

①大型車両の交通量も多く人身事故も発生している第2みどり橋の国道交差点に、感応式信号機やカーブミラーの設置は。

②高齢者ドライバーに対し、体験運転技能講習会などの実施は。

町長

①設置する考えはありません。

②ドライブシミュレーター体験などの実施を検討します。

問 広報広聴活動をより活発にするべきでは（執行方針分）

答 身近な会話をしていきます

菅原 文子 議員



菅原議員

町立病院については、身近な地域医療だと一人でも多くの町民に感じてもらうため、診療体制や安心して在宅医療を受けることができることを町民に知らせるべきであり、誘客交流拠点施設については、当初、小学生まで遊べるとしていましたが、その後、高齢者や家族連れ、あそびの達人でも使えるフリースペースも設けるなど、施設内容も変わってきました。町民への十分な広報広聴をせず、急ぎの案件として議会に承認を求められました。

執行方針では今後、公共施設の改修など投資的経費の増加が見込まれると述べ

られています。このような新たな公共施設を建設することに矛盾を感じます。

執行方針の第4に「信頼づくりのまち」町民の皆様と心をつなげていくとあり、限りを尽くしていくとあります。それには町民の理解を得ることが重要だと思っています。多くの町民の協力が必要としたり、関わりたりするような大規模な事業に関しては町民と情報を共有し、幅広い世代の町民への広報広聴活動をより活発にするべきかと考えますが、町長の考えを伺います。

町長

町立病院については、町広報や病院だよりなどを活用し、適宜お知らせします。また誘客交流拠点施設については、今後も多くの町民の意見が反映されるよう取り組んでいきます。

広報広聴活動は大事であり、身近な会話ができればよいと思っています。

問 子ども議会の開催は

答 小・中学校、教育委員会と協議します

内田 恵子 議員



内田議員

人材育成、ふるさと教育の観点から子ども議会の開催を提案します。

子ども議会は、各自治体の記念行事として多くを占めていましたが、平成6年に政府が児童の権利に関する条約を批准し、子どもの権利条約第12条の意見表明権実現の機会を提供するため、全国の地方議会ですら子ども議会が開催されるようになり、一部の議会では継続的に実施されています。

議会と行政の意義や仕組みを理解してもらうことを目的に、まちづくりや教育行政など児童、生徒の身近

なテーマについて町長や教育長に質問や提案をする機会を提供することは、人づくりのまちとして検討に値すると思いますが、町長の考えを伺います。

町長

ふるさと教育の観点から子ども議会を開催することは、子どもの権利条約にある「子どもが意見を表明する権利」を体现する場であるとともに、子ども達が多様性を受け入れ、個性や他人との違いを尊重し認め合いながら成長する機会であり、更なる人材育成の場として、まちづくりにもつながる意義のあることと考えます。

子ども議会の開催にあたっては、学校における授業時数や学校行事などの調整と児童生徒への負担を配慮する必要があるため、小・中学校、教育委員会と協議します。

※CS（保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を有する形態の学校）

その他の質問
コミュニティ・スクール（CS）の推進について

国は令和4年度までに全公立学校にCSを導入し、加えて全小中学校に地域学校協働本部を設置することを目指しています。設置の考えは。

教育長

学校運営協議会での議論を踏まえ、令和4年度設置に向けて検討します。

熊木 恵子 議員



熊木議員

子どもの遊戯施設の整備を核とした、誘客交流拠点施設整備事業を進め、将来的な移住人口の増加につなげていく施策として推進していくと執行方針で述べています。

多額の費用がかかることと、将来的なコストの試算

問 子ども遊戯施設の建設は見直しを（執行方針分）

答 有利な補助金の確保に向け進めます

もできておらず町民不在の建設になりかねません。補助金の確定が50%以下ならやめると明言しましたが、その決意に変わりはありませんか。

私は将来の高齢化率を踏まえ、交通や道路の整備、福祉、教育に係る経費を考えると、将来に大きな負担を課すこの事業は進めるべきではないと考えます。

南幌町を選んで移住された方が全て、遊戯施設の建設を望んでいると思えません。移住してきた町民も、古くから住んでいる町民にとっても将来の町の姿について、広く公平に意見を聞き取るからこそ町民が今一番求めていることではないでしょうか。説明会の開催時期を伺います。

町長

道央圏連絡道路の開通、日ハム新球場ボールパーク建設による本町を往来する人の流れを取り組むこと

で、多くの子育て世代に足を運んでもらい、将来的な移住定住につながる取り組みとして議会から同意をいただいたことから進めるものです。

町の将来負担を最小限にするため、補助金による町負担が50%以下になることが要件と考えています。

今後は施設整備の運営概要が明示できる段階で、町民の意見を聞く機会を設けていきます。

その他の質問
地場産野菜の活用で安全安心な学校給食を

町内で生産される野菜は、農家の努力で品目もふえています。学校給食に取り入れ、地産地消に特化した魅力のある給食を。

教育長

令和元年度からJAなんぼろと購入契約を締結し、南幌産の野菜を学校給食に取り入れられるよう拡充を図っています。

住民 町立病院の病棟を一本化するというが、療養病棟はどうなるのか。

議員 一般病棟の中で療養患者も診ていく。

住民 南幌工業団地にはどんな企業が入ってくるのか。

議員 日立建機をはじめ農機会社やリサイクル会社などが進出してくる。

住民 議会で今年視察したことを、どのように生かしていくのか。

議員 東神楽町は特定検診の受診意識向上につなげている。浦幌町議会は議会改革に向け参考になっている。

住民 誘客交流施設は本当に必要なのか。維持費をどれだけ考えているのか。ボールパークの影響を期待

議会報告懇談会

- ①令和2年2月22日(土) 14時～16時 西町コミュニティセンター
②令和2年2月23日(日) 14時～16時 ビューロー

日頃の議会活動やまちづくりへの取り組みなどについて、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告懇談会を開催しました。たくさんのご意見をいただきましたが、誌面の都合上、一部抜粋してお知らせします。

しても当てにならない。遊技場でなく他にやるべきことがある。高校跡を利用したらいいのではないか。

住民 「給食に地場産を」という意見。農家の新鮮な規格外品も使うべきだ。

議員 給食センターに食材を収めるには、個人農家ではできないシステムになっている。

住民 防災ハザードマップだけでは住民は守れない。各戸の構成など把握し適切な処置をすべきだ。協力会社との連携はしているのか。

議員 独居老人などの弱者住民は、有事の際に担当課で安否確認する体制がある。協力会社とも提携している。

住民 認定子ども園に、農家の子どもが冬期間は預けられないでいる。

住民 ゴミ当番 常識のないゴミ出しやマナーの悪い住民対策に防災無線で周知できないか。

木村修治議員が逝去

南幌町議会議員木村修治氏(65歳)が1月21日ご逝去されました。

木村氏は、昨年4月の町議会選挙において、初当選。多くの支持者の期待を胸に初議会に挑まれましたが、第2回定例会の翌日緊急入院となりました。そして7月には膵臓がんと告知され、本格的な治療が始まりました。体調が優れない中でも病院から議会の諸会議に出席し、発言をされていた姿を懐かしく思い出します。

木村氏は、赤十字奉仕団活動を始め、ボランティア活動に励んでおりました。また、ダンベルを持ちながら散歩し、子どもたちからはダンベルおじさんと慕われていました。

最後となった12月の定例会では一般質問を行いました。かなり辛そうなお姿でした。

議会本会議や委員会では、いつも笑顔を絶やさず積極的、建設的な意見を述べていた木村氏の姿を忘れられません。

木村氏のスローガンであった「人にやさしく、安全で、ゴミのないまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

ふるさと南幌町の変わりゆく姿をこれからも見守り続けて下さい。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



議会からのお知らせ

(仮称)南幌町生活環境の保全に関する条例は要綱で対応

町民の方々から空き地の雑草に関するご意見をいただき、議会提案として(仮称)南幌町生活環境の保全に関する条例として検討を進めてきましたが、協議の結果、将来の条例化を目指しながら当面、町の内部規定である要綱で対応することとしました。

要綱(案)に関しては、6月1日より町民皆さんからご意見をいただく予定です。

なお、南幌町議会基本条例については制定に向け、検討を進めています。

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会を、3月9日、10日、11日に開催し、審議の結果、令和2年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は賛成多数で「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員 【役場庁舎改修事業】

地中熱導入の費用対効果は。また、ユニバーサルデザイン化について具体的に。

総務課 A重油などのランニングコストの削減を見込んでいます。

障がいの有無や度合いにかかわらず、快適に利用できるよう、エレベーター設置、1階窓口のローカウンタリー化、議場傍聴席バリアフリー化、照明LED化等を予定しています。

委員 【ふるさと応援寄附事業】

今回の地域おこし協力隊員配置に伴う体制は。

総務課 職員と地域おこし協力隊員が協力し、資源の掘り起こしなどを行っていきたいと考えています。

委員 【ふるさと応援寄附事業】

企業版ふるさと納税に対する取り組みは。

総務課 本町は過疎指定を受けていないことから財源の関係上、積極的に活用してい

※プロボーザル※建築物等の設計者を選定する際に、複数の者に企画を提案してもらい、その中から最も適した設計者を選ぶ方式

きたいと考えています。本町にゆかりのある企業からの寄付が大切になってきますので、町内立地の工業団地内の企業に説明を行い、できるだけ獲得できるよう取り組んでいきたいと考えています。

委員 【誘客交流拠点施設整備事業】

プロボーザル※実施の前に町民への説明はあるのか。町民の意見を取り入れるべきでは。

まちづくり課 町民アンケート、ヒアリング、意見交換会等を行い、その内容を公募要項に取り入れています。

町民の意見と民間のアイデアを取り入れて基本設計業務を進めます。



施設イメージ写真

委員 【エリアマネジメント推進事業】

誘客交流拠点施設整備事業における、この事業の内容は。

まちづくり課 令和2年度は、シンポジウム1回、ワークショップ3回予定しています。民間企業にコーディネート

を委託し、町・地域団体・住民に参加していただき話し合う場を提供し進めていきたいと考えています。

民生費

委員 【高齢者事業団運営補助事業】

年々登録者の高齢化が進んでいるが、仕事の数と登録者とのバランスは。

保健福祉課 高齢化が進み、退職年齢も高くなっているため、登録者数は減少傾向にあり、仕事数とのバランスはとれていない状況です。

衛生費

委員 【保健福祉総合センター管理経費】

町立病院との連携はどのように進めていくのか。

保健福祉課 打合せ、対応

会議を年16回開催し、常に連携を図っています。今後連携を密にとっていきます。

農林水産業費

委員 【食育活動推進事業】

新規事業のなんぼろレシピ本作成の内容は。

産業振興課 町外の方に本町の野菜を知っていただくため、町外の方を対象に自作成を考えています。キャベツを中心とした野菜の紹介、町広報に掲載していた南幌食楽部レシピの紹介をする予定です。

商工費

委員 【商工会運営助成事業】

今年度盆踊りが中止となったが、来年度開催についての見通しは。

産業振興課 商工会主催で行っていましたが、ふれあいまつりと両方の開催は高齢化で難しいとの判断で中止となりました。今のところ町主催で行う考えはありませんが、住民から開催の要望があれば、町・商工会も積極的に支援を行っていききたいと考えています。

委員 【空き店舗活用支援事業】

中心市街地活性化のために新規事業者の掘り起しなど、今後の目標・見通しは、また、補助金は1年だが、延長の要望はなかったのか。

産業振興課 現在4店舗の

空きがある状況です。目標は全件ですが、2件で予算計上しています。補助金延長については、活用者の方は1年で理解いただいており、現行制度で進めていきたいと考えています。

土木費

委員 【公園施設管理事業】

現在、ほとんどの公園遊具が使用禁止となっている状況だが、今後の見通しは、



都市整備課 令和2年度で

公園長寿命化計画の見直しを行い、施設の劣化具合などを確認しながら、補助金の活用を含めて計画的に修繕を行う予定です。

委員 【町公営住宅管理事業】

栄町公営住宅浴槽設置工事について、設置による家賃体系は。また、今後ふやしていく考えは。

都市整備課 空き年数の長い2戸にガス式給湯器・流し

台の混合栓・洗面台・浴槽を設置予定です。家賃は最低価格帯で4,000円前後高くなる見込みです。今後もしやしていく方向で進めていきたいと考えています。

教育費

委員 【読書活動推進事業】

新規事業の新春本の福袋の内容は。

生涯学習課 新年の図書室

開館の初日に中身の見えない福袋を用意し、2週間以内の貸し出しを行うものです。

委員 【社会科副読本】

発行部数は。町民にどの

ように周知するのか。

生涯学習課 500部発行

予定で、小学校3・4年生に配布します。ぼろろ図書室を通じ広く町民に周知していきます。

委員 【給食運営事業】

給食費改定について、検討段階で無償化について議論したのか。

生涯学習課 運営委員会の中

で無償化の提案はありませんでした。現在、主食を補助して負担軽減になっていることから、今のところ無償化の考えはありません。

委員 【夕張太プール】

廃止後の跡利用を含めた今後の予定は。

生涯学習課 教育財産から

一般財産へ移りますので、現時点では未定となっています。

介護保険特別会計

委員 【地域支援事業】

ふまねつと事業の内容は。

保健福祉課 高齢者にとつ

て体の負担が軽く、歩行や認知機能に効果があります。



ふまねつとの様子

す。職員と生活支援コーディネーターが指導しています。介護予防の観点から普及を図っていききたいと考えています。

病院事業会計

委員 【在宅医療】

病院内に訪問看護ステーション設置の考えは。

町立病院 24時間連絡可能

な医師・看護師がいることが前提であるため、町内にある民間の訪問看護ステーションを活用します。

議会アンケートの実施

募集期間：5月1日(金)～5月22日(金)

◎アンケートの提出方法

アンケート用紙は、広報なんぼろ5月号に折り込みしています。ご記入の上、下記のいずれかの方法で提出をお願いします。

- ①情報コーナー意見箱に投函 (役場・あいくる・夕張太ふれあい館)
- ②FAXによる送信 378-2131
- ③持参または郵送 南幌町議会事務局 〒069-0292 南幌町栄町3丁目2番1号



議会まちづくり特別委員会

所管事務調査報告

議会まちづくり特別委員会は、道内先進地事例を研究するため、10月2日～3日、浦幌町及び東神楽町において調査を行いましたので概要を報告します。

浦幌町

議会活性化について

浦幌町での研修

平成23年9月、議長は、議会活性化について議会運営委員会に、議会の監視機能の強化や議会運営、議員定数・報酬に関する7項目を諮問し、第1次議会活性化に取り組む。

その間、北大の神原名誉教授などから指導を受け、平成25年4月議会基本条例を施行。平成26年には議員定数を13人から11人に削減する。

平成27年議会議員選挙で定数1名欠員となったことから、議員のなり手不足を検証するとともに、議会運営のあり方や町民に開かれた町民参加の議会など5項



目の活性化の視点を基に、議員協議会で協議を進めた。

具体的には、議会町民アンケート調査の実施「チーム議会」の発足、議員のなり手不足に関する報告書及び国等への要望活動、議会活性化講演会・フォーラムの開催（山梨学院大江藤教授、早大北川名誉教授）、議会モニターの外部評価、議会BCP策定、防災訓練、総務省町村議会あり方研究会報告書の検証など数多くの活動とともに、議会改革を行ってきた。

所感

20年前から議会活性化に着手し数々の改革を行ってきたが、その間、地方自治研究の第一任者からの指導を受けたことが、さらなる活性化につながったと思われる。十勝管内は芽室町議会をはじめ、議会改革に積極的な議会が多いのもその理由かと思う。

平成27年議員選挙で欠員を生じたことが大きなきっかけとなり、なり手不足解消に向けた取り組みが始まり、さらに大きく改革が行われた。

議会モニターについては、引き受け手がいないこ



とから議員がそれぞれ推薦して選出しているとのことだが、モニターからの貴重な意見を聞くことができ、モニターの口コミで議会に関心を高め、議会の行事に協力していることはとても良い成果を生んでいると思う。

さらに議員のなり手解消に関しても、新人議員の発掘の力になっている。

チーム議会として浦幌町議会が掲げた理由は、町民と対面する旗印であり、情報開示することを目的としている。小さな町の議会議員は政策の議論をすることは当然だが、議会としては一致協力してチームワークを重視して進まなければならないと思う。

議会基本条例については、それぞれの議会に合わせ身の丈に合ったものを考えるべきだと浦幌町の田村議長からアドバイスをいただいたが、まさにそのとおりであり、あまり急にハードルを高くすることなく検討していくべきであると感じた。

近年、議員のなり手不足問題が全国的に叫ばれている中で、浦幌町の取り組みは

一つの成功例だろう。今後過疎化や人口減少が進み住民が多様化していく中で、議会はその時代や社会にあった自己改革を絶えず行っていくことが組織としての宿命である。

議会モニター制度とは？

町民から議会活動、議員活動についての意見、要望等を聴取し、ニーズを反映した議会運営を図るための制度。

BCPとは？

事業継続計画（Business Continuity Plan）の頭文字を取った言葉。危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びられるようにしておくための計画。



解説

東神楽町

「スマートウエルネス
シティ」ひがしかぐら
健康クラブについて



東神楽町ゆるキャラ
かぐらっきー

東神楽町での研修

東神楽町は2016年5月1日にスマートウエルネスシティに加盟し、同年度『ひがしかぐら健康クラブ』を設立。これは町民一人ひとりの体を『見える化』する新たな取り組みの1つとして、スーパー食育スクールでも事業連携してきた『タニタ』とタッグを組み、効果的なヘルスプロモーション活動を実践し、タニタ式の健康づくりで町民がいつまでも健康で元気に明るく過ごせるまちづくりに貢献しようとするもの。タニタ式の健康づくりとは『はかる』からはじめる健康づくりで、タニタの活動量計を使用して、1日の総消費

至 旭川



カロリーや歩数を計測し、町内にある5か所（役場、これと総合体育館、ふれあい交流館など）の計測スポットである『健康の駅』に設置してある体組成計で体の変化を計測し、そのデータをパソコンやスマートフォンなどで体の変化を確認し、自らの健康管理に役立てる。ひがしかぐら健康くらぶの活動が、町民の健康寿命の延伸や医療費の適正化につながっていくことも大きな目標のひとつである。

所感

東神楽町では、子育て支援と教育に力を入れてい



子どもたちの血液検査を行ったところ、糖尿病予備軍が何人もいたことがわかった。これは子どもたちも大人も車での移動が多く歩くことが少ないためである。

子どもの食育をきちんと行うと家族の食事が変わる。家庭で朝食やバランスの良い食事を作るこの大切さを保護者に伝えることで、子どものためにきちんとした朝食を作るようになり、自然と食事バランスが良くなるということだ。

東神楽町では、文部科学省指定スーパー食育スクール事業を通して望ましい食

習慣を身につける指導の工夫「食と学力・体力の関係性を明らかにする実践」の二つを柱に研究を進め、タニタと協定を結んだ。

また、高齢者の予防医療にも力を入れており、子どもから高齢者までの健康に特化した考えに基づいた政策をしている。

その中の一つとしてスマートウエルネスシティ構想がある。この構想では、首長会議を開催しており、たくさんの方の意見交換をしている。

東神楽町では歩くことを主として健康増進、高齢者の予防医療に力を入れており、歩いた距離をコンビニエンスストアからデータをタニタに送り管理している。また、歩くことを政策にも反映させたまちづくりをしている。

ひがしかぐら森林公園で7月に行われるフラワーフエスタでは、健康クラブのブースを設け、会員募集と万歩計の貸し出しもしている。

歩くことに無意識だった町民を、どのようにしたら歩くようになるのかを考え、歩くように仕向けるこ

とを町として考えている。本町でも、ノルディックウォーキングを推奨しているが、万歩計等を使用している分が何歩歩いたかを知ることとはない。目で確かめることが、さらに歩く意欲を増加させることになる。

急速に高齢化が進む本町では、気軽に誰にでもできる身近な健康法を主とした政策が必要となってくる。万歩計を使うなど、見える化を取り入れた運動も必要であり、首長が主体のスマートウエルネスシティ構想の取組が有効だと考える。

議員研修を開催しました

～令和元年12月23日～

○財政について

講師 吉田 博氏

～令和2年1月20日～

○自治体議会の活性化と基本条例

講師 松本 勉氏

～令和2年2月18日～

○地方自治体の財政状況の見方

講師 今井太志氏



私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

北町在住 谷川 ^{れい} さん

日本の音楽教育では「音楽の父」と称されているバッハの日本バッハコンクールは、読譜力や演奏能力の向上を促し、生涯ピアノを学び続けるための音楽的基礎を育成することを目的としています。昨年2月に行われた第9回の同コンクール全国大会において、金賞と各部門コース内において、同一曲を演奏した中で最も点数の良かった方が選ばれるベスト賞を受賞し、南幌町教育文化奨励賞を受賞した谷川怜さんをご紹介します。

谷川さんは、今春、中学校を卒業され、札幌の音楽科のある高校へ進学しています。

今回の取材にあたっては、大舞台を経験していることからか、物おじせず朗らかに対応していただきました。

☆ピアノを始めたきっかけは

音楽教室に2歳の頃から通っていて、始めは音楽を聴き歌ったり踊ったりしていましたが、4歳の頃からピアノを習い始めました。

☆バッハの曲の素晴らしいところを教えてください。

一般的な曲は右手でメロディ、左手で伴奏することが多いですが、バッハの曲は右手や左手に主要な旋律が移る中で、大事な旋律を目立たせて弾くのが難しいです。それぞれの旋律が合わさったときに響くハーモニーが美しく素晴らしいところだと思います。

☆今一番弾いて見たい曲を紹介して下さい。

本来は、3月の発表会で弾く曲を練習していましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になり、披露できなくなったフォーレのピアノ曲「ヴァルス・カプリス」という曲をいつか弾いてみたいです。

☆今年の目標をお聴かせ下さい。

まずは、高校という新しい生活に慣れ、友達とのアンサンブルや副科の声楽の勉強ができることを楽しみにしています。

中学校卒業後から高校入学まで、多くの時間があつたので、充実した練習ができたそうです。今後も更にご活躍されることを祈ります。

N・H

なんぼろ議会だより
令和2年5月1日 第150号
〒069-0292
空知郡南幌町栄町3丁目2番1号
TEL011-378-2121
発行／南幌町議会
編集／議会広報特別委員会
印刷／(株)組合印刷

新型コロナウイルスの流行で、卒業式の自粛や学校休業など大きな影響が出ました。新年度を迎え、入学式は簡略化で行われ、東京オリンピックの開催延期や、各事業行事の中止が打ち出されておりますが、一日も早い収束を願う毎日です。

議会だより150号は、令和2年第1回定例会、予算審議を中心に掲載しました。町民のみなさんに大きく関わる本年度予算案は、予算審査の中で各議員が質問し、各課から丁寧な答弁をしていただきました。

今年度もまちの活性化に向けて、議会議員一丸となって取り組んでいきます。議会広報をお読みいただき、アンケートへのご協力やご意見をお寄せください。

K・K

編集後記